

令和2年度学習発表会

杜陵
だより

第2-2号

発行: 岩手県立杜陵学園
(児童自立支援施設)
〒020-0124 盛岡市
岩手県盛岡市三番丁1号
電話: 019-641-3365

今年度の学習発表会は、十月十七日に開催しました。この日の本番に向けて、入所児童十三名全員が一丸となり、練習と準備に取り組みました。

学習発表会は、展示の部とステージ発表の部の二部門で構成されています。

展示の部では、各教室の他、今年度は三密対策のため体育館後方に、各教科で取り組んだ作品やノートの展示を行いました。日々の授業でコツと取り組んできた成果を披露することができました。廊下には、各行事や学期の節目にまとめた作文、各自の個性が光る個人新聞を展示しました。入所当初は、なかなか文章が書けず苦労する子どもたちもいますが、何度も繰り返し作文に取り組み、自分の考えや気持ちを言葉

に表す力を付けてきました。展示見学の際には、子どもたちも誇らしげに自分の作品を紹介し、保護者も目を細めてじっくり見ている様子が、いたるところで見られました。

ステージ発表の部は、子どもたち一人一人が主役となる貴重な機会です。詩の朗読や暗唱、英語発表、ピアノ演奏、学園生活を紹介するスライド発表、児童全員でのさんさ太鼓、職員も加わっての合唱と、およそ二時間にわたる盛りだくさんの内容でした。スライド発表後には、一人一人がステージから、退園に向けた力強い決意を宣言し、激励の拍手をいただきました。

学園に入所している子どもたちは、入所前の地域では、さまざまな事情で授業や行事に真剣に取り組む経験が乏しかった場合が少なくありません。そんな子どもたちが、多くの観客の目が集まるステージで、緊張しながらも最後までひたむきにやり遂げた体験は、子どもたちの大きな自信につながりました。保護者や前籍校の先生方にも、子どもたちの成長の証を見ていただくことができました。この自信や皆さんからの激励を糧に、これからの学園生活では一人一人の課題克服に取り組んでいきたいと思えます。

(佐々木 美香)



北陸奥児童自立支援施設スポーツ交流会

今年度は、杜陵学園野球部としての活動が終了してから、杜陵学園バドミントン部が発足しました。今年度野球部は3年生中心として活動してきましたが、バドミントン部には2年生をキャプテン・副キャプテンに任命しました。任命された子どもたちも非常にやる気があり、上級生がいるプレッシャーもある中でしたが、例年開催される北奥羽スポーツ交歓会での優勝を目標に、モチベーションを高く持って活動しました。3年生も野球部での経験を生かして後輩に活動の進め方をアドバイスしたり、キャプテンの指示通りに動いて円滑に練習が進むようにサポートしたりする姿が見られ、上級生下級生共に成長を感じました。

そんな中でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、北奥羽スポーツ交歓会が中止となってしまうました。しかし、青森県の子ども自立支援センタ

ーみらいでは様々な対策が取られた中で、無事交流会が開催されました。内容はバドミントンの団体戦で、ダブルス3ペアの6名を1チームとし、杜陵学園から2チーム、子ども自立センターみらいから1チームの3チームでの総当たり戦を行いました。目標は杜陵学園AチームBチームで1位2位の独占です。2チームに分かれているとはいえ、お互いに応援し合って交流会を盛り上げようと頑張りました。どの試合も子どもたちが必死にプレーし、負ける悔しさ、勝つ喜び、いろんなことを感じる事ができたのではないかと思います。結果は杜陵学園

Aチームの優勝、杜陵学園Bチームの準優勝という結果になりました。

当初の目標を達成することができましたが、結果以上に、子ども自立センターみらいの児童が最後まで笑顔であきらめない姿や、大会運営にあたって細かな配慮をしてくださった職員の皆様の姿から、学ぶものが大きかったのではないかと思います。

来年度もスポーツ行事の開催について見通しが立たないのが現状ですが、こうした行事を子どもたちに可能な限り経験させてあげられるよう、努めていきたいと思えます。

(小野)

中3修学旅行

今年度は、コロナ禍でも実施できることの幸せを感じながら、秋田県男鹿市へ、全行程バスによる修学旅行となりました。

初日は、寒風山、真山伝承館、水族館、入道崎等を訪れました。伝承館の曲家では、ナマハゲの実演を体験し、その迫力を目の当たりにしました。入道崎では灯台に上り、素晴らしい夕景を堪能しました。ホテルでは、名物石焼料理の実演や温泉を楽しみ、夕食後は温泉交流館で、なまはげ太鼓の鑑賞をしました。勇壮なナマハゲが叩く迫力ある和太鼓の演奏に、皆すっかり魅了されていました。

二日目は、ナマハゲの壁掛作り体験、西海岸の散策、秋田市民族芸能伝承館の見学を行いました。壁掛は、各々味のあるナマハゲが完成し、受検に向け、怠け心を戒めてくれそうです。また、民族芸能伝承館では、竿灯実演を見学し、体験もさせて頂きました。

一致団結をスローガンに、仲間と過ごした二日間は、かけがえのない思い出、貴重な経験となりました。お世話になった方々から頂いた様々な心遣いにも気づき、感謝の思い

で終えることができました。

(渡辺)

遠足

今年度はコロナ感染防止の関係で、例年六月に行っていた遠足行事を、十一月六日に延期し実施しました。児童生徒十三名、職員二名で、昨年に続き、くずまき高原牧場を訪問しました。育成牛の餌やり、しいたけ収穫、アイスクリーム作りの三つの体験活動を行い、動物や自然とのふれ合いを通して「懸命に生きること」を肌で感じ取ることができました。

昼食は名物の「焼き肉ランチセット」。グループに分かれ、美味しい牛肉と牛乳を堪能しました。休憩時間には、ウサギ・山羊・馬などの

動物とふれ合ったり、広い草原で鬼ごっこをしたり、アスレチック遊具で遊んだり、大自然を思う存分楽しむことができました。

また、今年度は敷地内のドームをお借りして、児童生徒職員全員で、「ボッチャ」のレクリエーションを実施しました。「ボッチャ」はゲートボールのような競技で、老若男女みんなで楽しめるニュースポーツです。児童生徒同士の対戦も白熱しましたが、児童生徒チーム対職員チームの対戦では、珍プレー好プレーが続出し大いに盛り上がりました。

振り返りの作文でも、各々が自分の行動をしっかりと総括し、学んだことや今後に生かしていきたいこと等をまとめることができました。

(田口)

収穫祭

十一月十三日、畑作業の区切りの行事として収穫祭を実施しました。杜陵学園では、例年畑作業が終了することの喜びや大地への感謝を感じてもらおうための行事となっています。

当日、前半は畑の片付けと焼き芋作りを行いました。畑の片づけでは、収穫を終えた野菜苗を抜き取りながら「こんなに根が太かったんだ」等と野菜の力強さを感じていました。焼き芋作りでは、火起こしやサツマイモ準備を行い、周囲と協力しながら作業することの重要性を学んでいました。

後半は、食堂で調理体験を行いました。手際よく野菜を切っている児童、野菜を切るのに苦

戦しながらも丁寧に作業する児童など、皆それぞれのペースで体験を楽しんでいました。

最後は、児童職員が一緒になって美味しい料理をいただきました。いつも以上に賑やかな食卓となり、中には食べ過ぎてお腹を痛くする児童もおりましたが、今年の畑作業を振り返る良い時間となりました。

今年度の畑作業は、いつもの作業時間に加え、朝の日課で野菜の水やりを実施したり、休日の自由時間等に野菜を収穫したりするなど、児童が積極的に取り組む姿勢が見られました。作業指導班として、児童の頑張りや積極性が見られたことが日々の励みとなりました。

今後は農閑期となりますが、引き続き児童の成長の一助となるような作業活動の企画運営を続けてまいります。

児童入所状況

月	8	9	10	11	12	延計
月初人数	12	14	13	14	14	
月中入所	1	1	1	0	1	4
月中退所	0	1	0	1	0	2

(単位：名)

皆様からのご意見・ご感想は、インターネットでも受け付けております。

主要行事(1月~3月)

1月	3学期始業式 冬休み明けテスト
2月	期末テスト
3月	修了式・卒業式 退園式

編集後記

二学期は、紙面を彩る行事が多くありました。杜陵だよりの編集することで、行事を思い出し、子ども達の成長を振り返ることができました。今後も杜陵だよりでは、子ども達の成長の様子をお伝えできればと思いますのでよろしくお願いたします。

(高橋)